



JASDAQ

平成 26 年 6 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社ジオネクスト
代 表 者 名 代表取締役社長 浅井 克仁
(コード 3777・JASDAQ)
問 合 せ 先 取締役経営企画管理本部長
成瀬 岳史
(TEL. 03-5669-0112)

固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 6 月 6 日開催の取締役会において、新たに固定資産（事業用土地及び温泉権）を取得することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

I. 取得の理由

平成 25 年 11 月 8 日付の「新たな事業（再生医療事業及び再生可能エネルギー事業）の開始に関するお知らせ」及び平成 26 年 1 月 30 日付の「子会社の設立に関するお知らせ」において公表しておりますとおり、当社グループは当連結会計年度から地熱エネルギーを有効活用した地熱・温泉バイナリー発電事業を開始いたしました。

今回の固定資産取得は、発電端出力 1,500 キロワット前後の地熱・温泉バイナリー発電を行うための発電所用地として活用するものであります。

II. 取得の経緯

平成 25 年 11 月 8 日付の「新たな事業（再生医療事業及び再生可能エネルギー事業）の開始に関するお知らせ」公表以降、当社は自社での地熱発電・売電事業への参入を検討してまいりました。その結果、リスクをできるだけ抑制し、かつ高収益を得るためには、すでに高温・高圧の噴霧が湧出している土地での事業展開が必要と判断し、平成 26 年 1 月に、今回の固定資産の取得先である株式会社ジオサーマル・ホールディングスに対し、当社が地熱・温泉バイナリー発電を行うための発電所用地（源泉及び土地）の確保を依頼いたしました。このたび取得に至った鹿児島県指宿市の固定資産は、取得価格面からみても当社が事業採算性を十分に満たすと判断できるポテンシャルを有する源泉・土地であります。その一方で、地権者が複数名存在するため、発電所用地として一筆でも欠けると発電機設置のための工事や発電機設置に支障をきたすこととなり、全筆同時取得が必要不可欠な条件となっておりますが、このたび全筆取得に目処がつかしましたので、株式会社ジオサーマル・ホールディングスとの売買契約を締結することとなりました。

III. 取得資産の内容

| | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | 鹿児島県指宿市 |
| (2) 現況 | 山林・農地 約5,000 平米 温泉使用権(現在約 160℃、9 気圧の噴霧が湧出中) |
| (3) 取得価額 | 60 百万円 |

IV. 取引先の概要

| | |
|--------------------|--|
| (1) 名称 | 株式会社ジオサーマル・ホールディングス |
| (2) 所在地 | 福岡県福岡市早良区城西一丁目 8 番 36 号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 馬原 功 |
| (4) 事業内容 | 再生可能エネルギーによる発電事業等 |
| (5) 資本金 | 10 百万円 |
| (6) 設立年月日 | 平成 25 年 2 月 21 日 |
| (7) 純資産 | 1 百万円(平成 25 年 12 月末) |
| (8) 総資産 | 10 百万円(平成 25 年 12 月末) |
| (9) 大株主及び持分比率 | 馬原功 100% |
| (10) 上場会社と当該会社との関係 | 資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者いずれも特記すべき事項はありません。 |

V. 取得の日程

- (1) 取締役会決議 平成 26 年 6 月 6 日
- (2) 契約締結 平成 26 年 6 月 6 日
- (3) 物件引渡期日 平成 26 年 6 月 10 日 (予定)

VI. 今後の見通し

当該固定資産の取得による当期業績に与える影響は軽微ではありますが、今後、本物件の潜在地熱エネルギーの精査及びさらなる固定資産（発電機等）の取得などを行い、地熱・温泉バイナリー発電事業を展開していくにあたり、当期業績に影響を与える可能性があります。その影響は現在精査中でありますので、明らかになり次第、適宜、開示を行ってまいります。

以 上